

# ヒット & ロングラン

HIT & LONG RUN

UCARO ODKソリューションズ

学校選びから入学手続きまで、大学と受験生を直接つなぐ国内初の大学横断型受験ポータルサイト「UCARO（ウカロ）」は、開設から5年で導入する大学が80を超えた。運営するODKソリューションズの「顧客に寄り添うサービス開発」が新たな市場を切り開いた。（杉目真吾）

## 存続の危機

ODKは設立から50年となった2013年、親会社の大阪証券金融が同業他社に吸収合併され、存続の危機にあった。証券会社に代わって注文や決済などの証券取引をデータ処理する事業を中心に売上高の半分以上を失いかねないからだ。この事態に、当時社長だった西井生和は「強みを生かし、独立独歩で歩んでいく」と宣言。活路を見いだしたのは、金融分野での事業

# 受験生と大学の縁結び



大学受験ポータルサイト「UCARO」の開設などに携わったODKソリューションズの尾西さん（右）と守沢さん（大阪市中央区で）＝大久保忠司撮影

と同様に「機密性の高いデータを正確に処理する」ことが必要な大学向けの業務だった。入試広報の支援から国への報告資料の作成まで入試に関わる全ての業務を大学側から一括受託し、毎年、大学入学共通テスト（旧大学入試センター試験）の志願者数を上回るデータ量の処理実績があった。事業拡大の突破口になったのが、「近大マグロ」による知名度アップと完全ネット出願を追い風に14年度

入試で初の全国志願者数トップを達成した近畿大（大阪府東大阪市）だ。営業担当だったイノベーションデザイン課長の尾西宏之（42）は、大学関係者とさらなる「学生集め」の知恵を絞りつつ、大学側のコスト削減にもつながる新たな一手の模索を始めた。

## 親子で利用

近年は、情報を共有しながら受験に取り組む親子が増えており、19年末には保護者向けサイト「UCAROfamily（ウカロファミリ）」を追加した。21年秋にはスマートフォン向けアプリも投入した。

## 負担の軽減

ヒントは米国にあった。現地の大学は試験以外にもエッセーや推薦状、履歴書などの膨大な書類を参考に選抜する。大学の事務処理だけでなく、受験生の負担を減らす観点から「コンモン・アプリケーション」というウェブ上の共通出願サービスの利用が一般的だ。

日本でも、受験で高校での勉強以外の活動を多面的に評価する流れになり始めている。尾西らは、約2年かけて一校一校と妥協点を探り、入試や入学の手続きについて多くの大学が共通で



3者をつなぐ、志望校選びから入学までをサポートするUCAROのサービス

## 会社

## 金融情報処理と教育関連が中心

1963年、大阪証券金融と大阪証券代行（いずれも当時）のシステム開発・運用を担う「大阪電子計算」として大阪市に設立。第1号機のコンピューターは、米国から搬送されてきた写真。2006年には「サービスに関西圏中心から全国に拡大させる」ことを目指し、アルファベットの頭文字を取って現在の社名に変更した。

事業は「ウカロ」などの教育関連と、祖業の金融関連の情報処理サービスが中心だ。ともに制度や規制が頻繁に変更される業界で、機密性の高い大量のデータを正確に処理できる分野に特化している。

長時間労働の是正にも力を入れる。削減した手当を健康診断の料金補助や賞与などとして社員に還元するなど働き方改革に取り組む。

2021年3月期の連結売上高は54億円。東京証券取引所のプライム市場に上場している。従業員数は160人（21年3月末現在）。

ご意見、ご感想は〒530・8551 読売新聞大阪本社「ヒット&ロングラン」係、o-keizai@yomiuri.comへ。

21年度には、80超の大学がUCAROを導入し、出願には登録を必須とする大学も増えた。尾西らは、培ったノウハウを生かし、受験生の大学合格後の人生を見据えた新たなビジネスの創出を模索している。（敬称略）